

第3回第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 会議録

開催日時	令和2年11月17日（火曜日） 午後1時30分・開会 午後3時2分・閉会
開催場所	上湧別コミュニティセンター2階大会議室
出席委員等	委 員：北村委員長、野田副委員長、森・高桑・寺嶋 ・村田・本村・宍戸・毛利・西川・出口各委員 各部会長：石塚総務課長、星健康こども課長、安藤農政課長
欠席委員等	山口・藤井・中川各委員
事務局職員	企画財政課：佐藤課長、西海谷主幹、奥田主任
議題	1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 確認事項 （1）第2回第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会会議録の確認について 4. 議題 （1）湧別町人口ビジョン（素案）について （2）第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について 5. その他 （1）次回の会議日程について 6. 閉会
会議の公開	公開
傍聴人の数	1名
提出資料	（1）第3回第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会議案 （2）第2回会議録 （3）湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート （4）社人研準拠推計との人口構成比較（人口ピラミッド） （5）第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案） 26頁・27頁（差替）
その他	

## 1. 開 会

佐藤課長) 第3回第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を開催します。本日は過半数の11名の委員が出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

## 2. 委員長挨拶

北村委員長) お忙しい中お集りいただきありがとうございます。これまでの会議でも委員の皆様から様々なご意見を頂きましたが、本会議でも皆様の忌憚のないご意見を頂きながら会議を進めたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。この委員会は今日含めて後2回で終了したいと思いますのでよろしくお願ひいたします

佐藤課長) 本日の会議は概ね2時間を目途に終了させて頂きたいと考えておりますが、協議内容が多いことから本日1日では予定議題を終了できない場合も考えられます。そのため、残りの議題については、次回の会議に持ち越しさせて頂きたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

## 3. 確認事項

(1) 第2回第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会会議録の確認について

※会議録の修正については無し

## 4. 議 題

(1) 湧別町人口ビジョン（素案）について

※資料に基づき事務局から説明

・湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証シート

策定委員会による所見を検証シートに追加した。

・社人研準拠推計との人口構成比較（人口ピラミッド）

前回の委員会における質疑に伴う追加資料（国や北海道と湧別町を比較した場合の特徴）

・第2期湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）の差替え

前回の委員会での意見に伴い、具体的な事業の中に「外国人介護福祉人材育成支援事業」を追加し、この事業に係る目標値（KPI）を設定した。

・人口ビジョンに外国人人口の推移を追加

前回の委員会での意見に伴い、外国人就労者の人口についての推移を人口ビジョンに追加した。

- ・人口ビジョン地域ブロック別人口移動の状況の分析  
前回の委員会で北見市への転出超過について質疑があり次のとおり説明  
『届出内容から推測した分析内容』※2019年1月から12月
  - ・転入者21人（うち3・4月の移動10人（48%））  
※10人のうち転勤6人、就業が3人
  - ・転出者48人（うち3・4月の移動23人（48%））  
※23人のうち転勤15人（学校関係）、就労3人、進学1人
  - ・転出超過27人北見市への転出超過が多い要因としては、学校の先生とその家族による転勤や、就労による転出が他の地区より多いのが要因の一つである。

- （2）湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について  
※議案に基づき事務局から説明

○第1章「基本的な考え方」

寺嶋委員） 人口の将来展望についてですが、ここで記載されている町独自推計というのが出生率などを考慮した目標値でしょうか。

西海谷主幹） そのとおりです。

○第2章「基本目標、基本施策及び具体的な施策の展開」（まち創生）

本村委員） KPIである目標値の決め方ですが、例えば下水道新規接続件数の、目標値60件は5年間分ということでしょうか。

西海谷主幹） そのとおりです。

本村委員） 単純に基準値に5を掛けて算出したということでしょうか。

西海谷主幹） 目標値を設定した担当としては、基準値が11件であることから計画期間中の目標値はそれを上回る件数を目標として設定しています。

○第2章「基本目標、基本施策及び具体的な施策の展開」（ひと創生）

本村委員） 災害が少ない本町の地理的な特徴を生かした企業誘致とありますが、過去に何件くらいのオファーがあったか、それと合わせて企業誘致の具体的な取り組みも教えて頂きたい。

西海谷主幹) 地理的な特徴を生かした企業誘致の実績としては、期間中 18 件のオファーがあり、そのうち実績としては 1 件となっています。

宍戸委員) どの施策もすばらしい内容ではありますが、この施策を具体的にどのように実行していくかが重要であると思います。

森委員) ひと創生では「人口減少の大きな要因である出生数を改善するには、男女が出会い」と記載されていますが、これは個人の考え方もあり難しい問題ですが、出会いの場の創設について事務事業を協議した中で話題として上がった経過があれば教えて頂きたい。

佐藤課長) これまで個別計画は実施していましたが、町全体の事業としては取り組んだことはありません。

国では結婚に対し支援金を出す制度がありますが、湧別町ではまだこの制度を実施していません。現在、国ではこの制度の所得要件や支援金を拡充する予定があることから、町としてもこの事業を取り入れるかどうか内部で検討しています。

寺嶋委員) 子育て支援の充実では、第 1 期の検証では E 評価となっていましたが、この項目だけ直接的に出生数で評価されており、他の項目と比べてフェアでないと感じました。出生数より②の妊娠・出産・子育てに伴う事業がどの程度実行されたか、この部分を目標値とするべきだと思います。

佐藤課長) 出生数を評価の対象としている部分ですが、たしかに他の項目では事業の実績などを目標としている所もありますが、この部分については出生数を目標とし、これを達成するための 5 つの具体的な事業を実施することで、なんとか目標値に近づけていきたいと思っていますのでご理解願います。

本村委員) 移住の促進についてですが、目標値を件数ではなく率とした理由と算出根拠を教えて頂きたい。

佐藤課長) 目標値の設定と算出方法ですが、現在、町内には移住体験住宅が 3 戸あり、その年間の使用日数により稼働率を算出しています。昨年は 10 数件の利用があり稼働率としては 27 % となっており、それを基準とし目標値を 30 % に設定しました。

- 第2章「基本目標、基本施策及び具体的な施策の展開」（しごと創生）
- 森委員) 総合計画の中高生アンケートの中で、他の市町村に移りたい理由として「就職先がないから」と回答した生徒が3割近くいましたが、これは町内の就職先の間口が無いからなのか、就きたい職種が無いからなのか、どちらか分かれば教えて頂きたい。
- 村田委員) 湧別高校としては今年度の3年生は36名おり、その約半分が就職です。また、就職先の殆どが町内の企業で職種の内訳としては事務職が多いことから、例えば販売を希望する生徒については町内での就職が難しい状況にあり、そのため町外に就職する傾向があるのかもしれません。町内への就職が多かった理由としては、生徒の希望職種と町内で募集されている職種が上手く繋がったこともあります、産業間ネットワークの協力・支援のおかげで生徒達が町内の企業に目を向けた成果もあると思います。
- 佐藤課長) 今年度は、就職を希望している湧別高校3年生を対象とした、町内12社による企業の説明会を開催させていただきました。さらに、町としても進学希望者に奨学金返還制度や免除制度についての説明をさせていただきました。年度内には2年生を対象とした説明会も実施する予定であり、今後も継続して産業間ネットワークと融合した取り組みを進め、町内への就労を増やすよう取り組んでいきます。
- 高桑委員) 産業間連携の推進の部分で、目標値が連携事業を年1回と設定していますが、これは企業説明会の開催回数ということでしょうか。
- 佐藤課長) 町を含めた7つの団体で構成しているのが産業間ネットワークですが、昨年度までの事業では全団体による統一した事業というものがありましたでしたが、先ほど説明したとおり今年度より高校生を対象とした企業説明会を全体の取り組みとして実施していることから、産業間連携の推進に係る目標値としては、年1回はこの企業説明会を開催することを目標として設定しています。
- 村田委員) 情報提供ですが、産業間ネットワークと連携し2年生が町内企業のポスターを作るという事業をしています。生徒がポスターを作る過程で町内企業を知り興味を持つことで町内への就労に繋がり、

また大学からのUターンも増える有効な手段だと思います。今後は、中学生にもこの繋がりを持たせていくことが出来ればと思っています。

高桑委員) 新規起業の推進の部分ですが、企業誘致・起業数の目標値を10件とし、具体的な事業としては商業等店舗整備促進事業と起業支援事業となっていますが、これらの事業を推進するためには商工会が間に入って支援する必要があると思います。また、町外からの通勤者が非常に多い状況ですが、町内に住み町内で働いてもらうための対策などを、産業間ネットワークなどで考えていきたいと思います。

### ○第3章「策定経過」

西海谷主幹) 事務局において、次回の会議と現時点での予定を含めた内容を整理し、委員の皆様にお配りしたいと思います。

## 5. その他

### (1) 次回の会議の日程について

開催日 12月3日（木）午後1時30分

会議内容 町長への答申書の案の審議

町長への答申

町長との意見交換

出口委員) 基本的には、行政のテーブルで出されたこの計画は非常にいいものだと思います。目標数値については少し控えめに設定したほうが行政上も安心だと思います。

ただ、これは基本的には行政ベースで出された案ですので、今から私の意見を話します。

まち創生ですが、東京一極集中、地方人口減、地方過疎化などは、60年以上前からの問題であり、私は年齢的にも人口がピークの時に生まれています。この行政上のテーブルの素案というものが着実に実行されれば人口の減少に歯止めがかかり、いい町になるとは思いません。やはり町民主導で今後の町づくりについて具体的なアイデアを出し合い、皆で議論していかなければ実現は難しいと思います。

最近のデータによると佐呂間町は人口5千人程度、一般会計の予

算は50億円、西興部村は人口1千人程度、一般会計の予算は17億円と聞いています。いずれこのままいけば湧別町も将来これらの町のような規模になるかもしれません。

この町には漁組や農協などの一流の団体がありますが、それがあることによって町民皆がそれに頼り切って慢心しています。

先ほど他町村の予算規模について話をしましたが、湧別町も財政的には地方交付税が減少しており厳しい状況です。菅総理になってから地方創生交付金は増額される見込みですが、それを継続して受けるためには具体的なプランを主張していかなければなりません。

北海道は開拓当時から国や行政に依存した体質があり、このような公共事業に頼った形は北海道の特徴ですが、これによって国や道の施策によって町が左右され、それが農業、漁業、商工業にも影響しています。

湧別町は鉄道の廃止や雪印乳業の撤退などの歴史があり、施策を行う際はこういった歴史も考えの中に入れて、進めなければなりません。

人口減少は自然なことで悪いことと考えず、これを逆手に取った考えをするほうがいいと思います。

合併についてですが、今後は他の町村と合併はしないという基本理念を持つ必要があると思います。

高規格道路も上湧別まで延伸し、いずれは紋別空港までくる予定ですが、湧別町から札幌までの移動が3時間半となれば、計画の中の生活圏やレジャー圏などの見方も変わってくる可能性があります。

今後の湧別町では、中湧別、上湧別、湧別を中心としたコンパクトなまちづくりを進める必要があり、いずれは中湧別などを町の中心としていく必要があると思います。上湧別地区はたまたま特養や来夢がありますので、日本版のC C R C的な地区とするなど、酪農は酪農、漁業は漁業で集中的にかため、無駄のない投資をする必要があります。

住宅政策としては、空き家の所有権、取り壊し費用、固定資産税などの問題があることから、中古車市場を参考に中古住宅市場を広げていく必要があり、その政策の中で家族構成も昔の二世代家族になるべく戻すような方向を目指し、それにより核家族化を止め、さらに介護問題も改善することができます。このような住宅政策にウエイトを置いた町づくりを進める必要があります。

防災についてですが、災害は町全体で取り組む姿勢が重要であり、災害などの避難所では女性目線での対応が必要となります。しかし、

防災会議の構成メンバーには女性が非常に少ない状況にありとても驚きました。

子育ての関係で一つのアイデアですが、子どもが生まれた際に肌着や靴下などの5点セットを町から贈る自治体であってほしい。また、子どもが進学し都会などに転出した場合、学費や生活費などの教育資金がかなりかかります。そういう子もに対し町独自で特産品の冷凍ほたてや、玉ねぎを送り町として支援するぐらいの気構えがあってもいいと思います。特産品を受け取った子どもは、町に対する故郷愛が生まれ、それにより町に戻ってくれる人もいるかもしれません。

私の意見を行政の素案に盛り込むのは現実的には難しいと思いますが、この計画の肉付けとして頂けると幸いです。本当の意味でこの町を持続させるには、町民の意識を変えていかなければならぬし、町の特色を生かすことも大切だと思います。

## 6. 閉 会

佐藤課長) 長時間に渡りましてご審議頂きありがとうございました。

以上を持ちまして、第3回目の湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会を閉めたいと思います。

本日はありがとうございました。

午後3時2分終了